



板橋区では区の施策としても、学校の緑を増やす取組が進められています。学校内への植樹も積極的に行われ「学校の森」として児童・生徒だけでなく保護者、地域の方からも親しまれています。

地域の方々の学校に対する協力・援助が大変熱心であることから板橋区から金沢小学校が選ばれ、昨年3月、工事に入り、7月には校庭の一部(約1,000㎡)が芝生化されました。校庭の芝生を維持管理していくには、保護者や地域の方々の協力が欠かせません。



臼木信子校長先生の話

『グリーンキーパーズ』発足に際しては、学校運営連絡協議会に協力をお願いしました。委員さん

から「教育活動の条件がよくなることにつながるのであれば、協力します。」との御返事をいただき、会長職や役員まで引き受けてくださいました。地域の方々の御理解・御協力なしには立ち上げることはできませんでした。

『グリーンキーパーズ』の活動は、原則として毎月第一土曜日の9時から行われます。校庭の芝生の維持管理だけでなく、校庭に数多くある樹木(80種、2,000本)の世話もします。活動には、地域の方から、保護者、子供まで誰でも自由に参加できます。地域の方や保護者の方が直接触れ合える場にもなっています。特に、地域の年配の方々が積極的に参加していただき、生き生きと活動されていることをうれしく思っています。

グリーンキーパーズの活動当日の様子



緑がまぶしい校庭に『グリーンキーパーズ』の方々が次々に集合してきます。当日は地域の方を中心に、14~15名の方が作業に参加されました。はじめに岩佐副校長先生が今日の作業内容を説明し、その内容に応じて、各自ができることに取り組んでい

きます。皆さん、慣れた様子で雑草抜き、樹木の下枝切り、小枝や石拾いと、汗を流していました。

エンジン付の芝刈り機を使っての芝刈りも行われました。しかし、機械を使うには準備が必要となります。それは、機械の刃を傷めるものになる石や枝などをきちんと取り除くことです。小枝や石拾いには、幼児も保護者と一緒に参加し、芝生を守る活動に貢献していました。それだけでなく、親子三代そろって活動する方がいたことも印象的でした。



参加された方々の声

○富沢輝一さんの話

(グリーンキーパーズ会長・金沢自治会長)

「学校運営連絡協議会の中で学校より話があり、社会貢献の一つと考え参加を決意しました。この活動を通して、町内会の活動も盛んになってきています。(校庭芝生化の成功は)地元の協力が鍵ではないでしょうか。ただ、会長としては、毎回何人ぐらい集まるのかを心配しています(強制はしていないので)。」

○川嶋厚さんの話

「50年前に卒業した母校に、このように関わることができて楽しいです。見たことのない植物があったり、植物の手入れの技術を学ぶこともできたりすることで、役立っています。」



○山本公章さんの話

「芝生化するということで、地域としてできることで協力と思ったが、こんなに大変とは思いませんでした。目に見えないところで、芝生を育てる苦労があります。しかし、それを上回る幸せがあります。休み時間に裸足でのびやかに遊ぶ子供たちをみて、うれしい気持ちでいっぱいになります。」

○清澤一人さんの話

「お手伝いしているのは、植物が好きだし、学校だけでは大変だろうと思ったからです。ベランダから校庭を見ると身も心も癒されます。その恩返しでもあります。」

○若林正樹さんの話

(元おやじの会会長)

「校庭キャンプも芝生になる前から金沢くらぶ(土曜日の子供達の活動を支援する保護者ボランティア活動)と一緒に開催していましたが、芝生になってとてもよかったです。温度が低く、朝起きたときの芝生のおいなど、十分に楽しむことができました。キャンプの参加者は親子合わせて400人、テントのほかに音楽室等にも泊まる方が100人以上いました。」

○新田豊作さんの話

「子供たちが芝生の上で戯れたりすることは、子供同士のコミュニケーションにもなっています。そのような環境をつくることも大事だと思います。」

○小山直正さんの話

「芝刈りにもコツがあります。雑草抜きは刈る前にすること。刈った後では雑草と芝の見分けがつかなくなってしまう。」

「夏休み中に水やりした時は、必ず記録を残すようにしています。学校の先生たちがそれを見れば、水やりをしたかどうか正確にわかるようにしています。」